

## 第三者評価結果 公表シート

(このシートに書かれている内容は、そのまま富山県福祉情報システムにおいて公表されます。)

事業所名	富山市立水橋西部保育所
第三者評価機関名	社会福祉法人 富山県社会福祉協議会
評価実施期間	令和 元年 5月 20日(契約日)～ 令和 元年 10月17日(評価結果確定日)
過去受審回数 (前回の受審時期)	一 回 (平成 年度)

### 1. 概評

#### ◇ 特に評価の高い点

##### 【職員のつながりで育む保育実践】

・所長、副所長が中心となり、「職員自ら考え行う姿や、共に悩む時間を大切に」の指導方針を自らが実践し積極的に参画し、正規職員・定数外職員・経験年数にこだわらず、すべての職員がこの思いを共有し実践に努めている。地域の活動協力者などの思いも加わり、愛情いっぱい  
の保育が展開されている。これらは、保護者アンケートの声からも伺える。

##### 【自主性を伸ばす環境づくり】

・空きのある保育室などを活用し、多目的利用が展開されている。ディリープログラムの時間的  
配慮や保育士の関わりなどにも工夫を加え、子どもたちが自ら考え、自主的に生活や遊びを組  
み立てられるような伸びやかな育ちへの取り組みが見られる。

#### ◇ 改善を求められる点

##### 【多様な声が反映された事業計画の作成と周知】

・平成 31 年度事業計画は、職員の自己評価結果などから意見や要望を集め作成されている。  
単年度事業計画については、地域社会の動向や子ども・保護者や地域ニーズを把握した上  
で、職員のみならず地域・保護者等の関係者からも意見を集約し、反映した計画であることが望  
ましい。その計画が、広く保育事業関係者に説明され周知することで、信頼と協働や参加促進に  
つながることに期待したい。

##### 【評価を活かした質の向上に向けた計画的な取り組み】

・今年度実施された自己評価について、数値化すると共に職員からの分析結果も集められた。  
その内容や第三者評価の結果に基づいて、検討や検証を深め、自らの保育の特徴と課題を職  
員間でしっかり共有化を図り計画的に実施及び評価され、そのプロセスは文書化しすべての職  
員が閲覧できるよう取り組むことが望まれる。内容については、保護者や地域へも積極的に発  
信することで、保育に対する理解や関心が高まることに期待したい。

### 3. 各評価項目にかかる第三者評価結果(別紙)

#### 4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

職員一人一人が自分の保育を振り返り、より温かい保育が展開できるよう、語り合い考える時間を持てたことが何より自分達の学びとなりました。

自己評価や人権擁護のセルフチェックシートなどに全職員で取り組み、共通認識のもと、常に子どもを意識して保育を考えることができ、話し合いが深まったと思います。

今までの評価・反省を踏まえて、新たなメンバーで意見を出し合いながら保育を進められたことは、私達の強みであると考えています。

高く評価していただいたことを継続しながら更に推進し、指導事項については真摯に受け止め、改善に向けて早速取り組みを始めています。水橋西部保育所ならではの保育を実践し、子ども達の育ちを保護者や地域に発信し、信頼や協働につなげ、保護者や地域のニーズに応えることができる保育所運営を目指してまいります。

最後に、今回、第三者評価を受審するにあたり、ご尽力いただいた評価機関の皆様、利用者アンケートにご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

## 第三者評価結果

※すべての評価細目（65項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>富山市基本理念に基づき、保育所理念が掲げられている。保育理念は、職員自己評価アンケートから、「周知されているがより分かりやすい工夫として、イラストを踏まえて掲示する」という意見があり、変更点を踏まえ見直しとイラストを用いた掲示物作成に取り組んでいる。保護者には、説明会や総会を通して重要事項説明書に基づいて理念や保育目標を説明している。その内容は、説明だけでは周知に不十分なこともあるためクラスだよりへ掲載し、更なる周知に努めている。職員や保護者にとどまらず、地域社会に対してより積極的に発信・周知していくことで保育への理解や関心が深まることに期待したい。</p>		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>富山市では、「質の高い幼児期の教育・保育の総合的な提供」と「地域の子ども・子育て支援の充実」のための方向づけと方策を提示するため、子ども・子育て支援法に基づき「富山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、その中に分析及び取り組み、方策が示されている。今後さらに地域福祉自治組織などの会合へも積極的に参加し、地域の福祉計画や保育に求められるニーズなどの把握と掘り出しに期待したい。</p>		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>公営のため設置主体である富山市において、基準を満たした人員配置と利用者の決定が行われている。毎年、保育所要覧の調査協力を行い、組織体制や利用及び待機児童状況、人材育成や勤務状況（超過勤務含む）、財務状況等の動向を把握するよう努めている。また、当保育</p>		

所は立地的に隣接市町村があることから他行政からの入所を受け入れている。その行政担当者とも現状や課題などについて話し合いを重ねている。

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中長期経営計画書が平成29年～31年度分として策定され、「保育運営」「人材育成」「危機・安全管理」「地域の保育所」の項目に沿って施策内容が記載されている。作成当初からの立案・検討経過や平成31年度見直しについて、その参加者やプロセス・検討内容などの記録等は確認できない。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>平成31年度の単年度計画は、年度当初に職員に対し自己評価アンケートを実施し、それらを数値化して取り組むべき課題や取り組みたい内容について検討し、計画に反映させている。しかし、中・長期計画に基づいて該当年度の目標達成にむけた単年度計画を策定する必要がある。それらの整合性や単年度計画検討についての内容が記録されておらず、策定のプロセスを記録していくことが望ましい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>平成31年度経営計画書は策定されている。適宜、計画内容の進捗状況や実施内容について会議で検討されているが評価の過程や内容が記録などで確認できない。事業終了時（年度末）には全体評価をし、次年度計画への検討予定があるが、地域や保護者の参画や意見の反映については十分とは言い難い。評価・分析など一連のプロセスは記録され継続性を持って、職員のみならず関係者の参画を含めた検討や見直しが行われるよう期待したい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・ <b>c</b>
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>平成31年度に策定された計画書には、保育、人材育成、安全管理、地域交流などが盛り込まれている。保護者等の理解や参加を促す観点から、計画内容について周知、説明が求められる。保護者へは総会などの機会を通し説明されているが、参加が難しい保護者や地域住民などへ、行事内容の案内に限らず事業計画の背景や内容について周知の機会を設ける等、計画に関係者多くの声が反映され、周知・共有実践されることが望まれる。</p>		

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>今年度第三者評価受審を計画し、5月に第三者評価基準に基づく自己評価を全ての職員に実施している。その結果は所長が中心となって集計し、数値化され結果や判断理由も明確に分かるようにしている。そうすることで職員同士互いの認識や想いについて共有し、様々な意見を踏まえて検討し、活かすよう取組みを進めている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自己評価実施後、数値化された結果から導き出された課題について検討や取組みを進めている。今後は、課題や改善内容に加えて、達成期間などを明確に定め、段階的に取組み見直しのサイクルが恒常的な取組みとして定着・機能していくことに更に期待したい。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>所長である自らの役割に加え、各人の職務の内容についても文章化されており、その中には所長不在時の対応も含まれており、副所長に一任し連絡・報告が確実に実施されるよう指導している。また、保育環境についてはこれまでの状況を踏まえたうえで、責任者として、「保育士が自ら考えて、行動できる姿を大切に」の思いを各種会議や保育現場で実現できるよう共に努めている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>所長会議などにおいて、富山市より指導を受け、遵守すべき法令等については各種会議や申し送りなどで全職員への周知と徹底を図っている。また、マニュアルに基づいて児童福祉法・児童虐待防止法・個人情報保護法遵守について取り組んでいる。昨今様々な雇用者による問題が発生していることも鑑みて、コンプライアンスに対しては誓約書等での規定遵守の同意を得るなどの取組みも望まれる。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		

12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>所長は実施した自己評価結果の数値化と要因や意見をまとめ「見える化」に取り組み、その結果についてミーティングや会議等を通して話し合い、保育課題について明確になるよう努めている。また、保育場面を通じて職員には『悩む時間を大切にしよう』副所長と共に働きかけている。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>公営管理体制のため、経営状況や財務分析については保育所単位では行われていない。業務の実行性を高めるために、年齢別会議や職員会議は定期的を開催し、活発な意見交換の場となるよう配慮している。また、他市町村行政担当者とも事務業務を含めた細かな対応にも迅速に努めている。</p>		

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>富山市で推進している「シニア保育サポーター」の登録呼びかけを積極的に行っている。富山市へ取組み状況や見通しを定期的に報告し、連携しながら適切な人員配置及び育成と定着に努めているが、各保育所において採用活動は行っていない。職員の人材確保については、富山市が策定した「富山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業の見通しを立てながら職員の採用計画を決めている。また、今年度は富山大学の幼児教育を専攻している3・4年生の希望者を募り、富山市の公営・私営保育所が合同で意見交換を行う場を設けた。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>富山市において、「人事異動調書・業務評価・勤務評定・自己申告書」などを定期的実施し、保育目標のモニタリングを実施するなど客観性、公平性、透明性を持った人事管理を組織的に行っている。また、処遇においても昇任・昇格基準が明確にされている。面接時には期待する職員像を具体的に伝えられるよう努めている。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>所長は、職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスに配慮し声掛けや傾聴を意識して行うよう努めている。その中で所長は、昨年若い職員の有給取得率が低かったため、今年度は計</p>		

<p>画的に取得できるよう配慮している。また、富山市では、「働き方改革セルフチェックシート」に基づいた保育所自己評価を5月・10月に実施、6～7月にかけてメンタルヘルスチェック、8月にはストレスチェックを職員に実施し、結果や内容によっては臨床心理士等に相談できる体制が構築されている。</p>		
<p><b>Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</b></p>		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          正規職員においては業績評価が年に2回実施され、その際、面談も行い業務自己評価と目標達成度について確認及び進捗状況を把握している。嘱託及び臨時職員においては半期毎に面談し意見や意向等を把握し、働きやすい環境の提供に努めている。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          保育所内では、若手の職員が多いため、『自園研修』では、職場会議等で学びたい、知りたい項目を集め、それをテーマとし自園研修年度計画を作成している。自分のテーマは各自で司会及び進行を務めることも学びとし取り組んでいる。富山市においては、年度初めに経験年数や保育分野によって分類された研修内容が計画され、教育及び研修の計画が示されている。そこには、研修計画の基本方針や具体的な目標等の明記はあるものの、今後はさらに資格等を含めた具体的なキャリアパス計画に基づく目標、そして職員の意向を踏まえた教育・研修機会の提供、外部研修等への積極的な参加を奨励するなどの取組みにさらに期待したい。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          職員の意向や経験を反映させながら研修計画にある研修への受講者を決定し、参加する機会を設けている。また、キャリアアップやその他研修案内は随時回覧し希望があれば参加を申し出ることができる。研修等の参加後は、1週間以内に報告書と資料を提出することとし全職員に回覧している。共有すべき情報や知識は、職場会議において報告している。保育に関わるニーズが多様化している中で、職員は一定期間の就労年数で異動が行われる環境にある。職員毎の研修履歴等が管理され、成果の評価や分析を行い、それらに基づいて全体のキャリア構成と連動していく研修体制の再構築に期待したい。</p>		
<p><b>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</b></p>		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;          富山市が作成している実習生受け入れマニュアル及び年間実習計画に沿って、副所長が窓口となり対応にあたっている。また、看護専門学生、保育士・幼稚園教諭養成課程を履修している大学生、中学生と幅広く対応しており、マニュアルに基づいて保育の特徴や注意事項、持ち物などを記載したシートを活用している。実習等の受け入れについては、事前にお便りやお知らせボードを活用し、子どもや保護者へ周知するよう努めている。今年度は富山市が</p>		

講師を招き、実習生受け入れに関する実務的な研修を担当窓口となる職員に対し実施している。また、実習生の所属機関へ出向いてオリエンテーションを行う出前講座等も開催した。

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所基本方針や事業所基本情報はホームページに掲載している。また、保護者には総会等の機会に第三者評価受審について説明したり、地区センターや小学校等に行事予定等を配布し発信している。財務状況については、公営であることから、富山市が手がける全事業については予算及び決算報告がなされているが、保育所単位での情報公表は現実的に行われていない。富山市はホームページに受審が終わった第三者評価結果を掲載し、利用者及び地域の関係機関、市民などへ広く公表している。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所現場で必要な備品及び消耗品などを購入するための予算が、4月に富山市より配分されている。それらの扱いについては、職員会議などで要望や意向を確認しながら、収支計画を作成し、マニュアルに基づき適正な出納管理が行われているか確認している。予算執行状況については、定期的に富山市が監査を実施している。</p>		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>所長は地域の自治会及び地区センター等から情報を収集している。校区に一つの保育所であり保育活動へのサポートやボランティア活動に対して地域住民や関係機関の理解は大きい。これまで交流のある教育機関や地域資源とは関係が継続できるよう活動内容に工夫しながら取り組んでいる。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>『シニア保育サポーター事業』を推進している。目的は、保育環境の整備や諸行事における準備等、保育所の業務を補助し、保育環境の向上を図ること、また、世代間交流の機会を作ることである。子どもたちにとって地域の方たちに親しみを抱き、思いやりの心を育むこと</p>		

<p>につながり、高齢者の皆さんにとっても生きがいづくりの機会や社会活動を継続することにつながる。上記以外にもボランティア活動が実践されているが、多岐にわたるボランティア活動への基本姿勢や活動中のトラブルなどへの対応についてのマニュアルは十分とは言えず対応が望まれる。</p>		
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt;  地域との関わりについて方針や目標は、「重要事項説明書」・「平成31年度単年度経営計画書」の中で考え方を記しているが、地域や関係機関にむけて、計画書等の十分な説明には至っていない。保育活動やボランティア活動、地域との交流においては様々な社会資源を活用している様子は写真付きの活動記録からも知ることができる。そういった活動は、入所時の重要事項説明書や保育所便りなど、折に触れて紹介や説明が行われている。</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt;  ボランティアや実習などは積極的に受け入れ、社会福祉に寄与できるよう指導にあたっている。また、子育て相談や支援事業、多種・多世代にわたる交流活動も継続して展開されている。しかし、災害時などの近隣住民への協力依頼や、保育所が有する機能の紹介などを含め、日頃から、自治防災組織や近隣住民と災害時の連携・協力に関する内容について確認するなどの取り組みが早急に求められる。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt;  地域からのニーズに応じて、地域行事への参加は毎年継続して行われている。地域に潜在している福祉（保育）ニーズを把握していくための取り組みを検討・実施し、保育所や子ども、職員が持ち合わせる機能や専門性を地域の実状に合わせて積極的に還元し、福祉課題の把握・解決に向けて公益性を有する組織として、地域福祉向上の一助となることに更に期待したい。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p>		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt;保育理念、方針、目標など4つ葉のクローバーで図解し職員や利用者（保護者）に分かりやすいように工夫し玄関に掲示されている。</p>		

<p>「人権擁護のためのセルフチェックシート」に全職員で取り組み、自身を振り返り日々向上に努めている。この取り組みを定期的に行い、職員間での話し合いをし、より共通した理解が深まることに期待したい。</p>		
29	<p>Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。</p>	<p>a・<b>②</b>・c</p>
<p>&lt;コメント&gt;子どものプライバシー保護等の権利擁護に関する規定・マニュアル等は、富山市が整備し各保育所に提供されている。また、富山市では、研修も実施され、参加した職員による研修報告もされている。</p> <p>着替えは、トイレ前の廊下で低い目隠しの中で行われている。他の子どもたちもトイレに来て混雑しているのでプライバシーが守られる場所の工夫が望ましい。</p> <p>プール遊びでは、プライバシー保護のため周りをブルーシートやピクニックシートで囲っているが、楽しめる環境とは言い難いため、目隠しの仕方に工夫を期待したい。</p>		
<p>Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>		
30	<p>Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	<p>a・<b>②</b>・c</p>
<p>&lt;コメント&gt;富山市ホームページで保育所情報が公開されており、運営規定等は、玄関に置き誰でも閲覧できるようになっている。</p> <p>見学者は、随時受け入れ、事業内容、保育所の良さなどを伝えている。今後も保護者の視点に立った情報提供や、分かりやすい内容の独自パンフレットを作成するなど工夫をし、積極的な情報提供に期待したい。</p>		
31	<p>Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。</p>	<p>a・<b>②</b>・c</p>
<p>&lt;コメント&gt;重要事項説明書と富山市の入所のしおりをもとに説明を行っている。途中入所に対しても同様に丁寧に説明、理解を求めている。</p> <p>保育の変更は、富山市担当課から支給認定書が届くため手渡し、説明をして了解を得ている。特に配慮が必要な保護者への説明においては、保育所は把握し、できる限りの配慮をしているが今後のことも考えルール化し、適切な運用が図られるように期待したい。</p>		
32	<p>Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>a・<b>②</b>・c</p>
<p>&lt;コメント&gt;保育所等の変更にあたり、配慮事項を知らせたり、必要な書類を送付し保育の継続性に配慮している。保育所利用の終了にあたり保護者に相談方法や担当者の有無を書面にて渡し、保育の継続性の必要性を理解してもらう対応を今後も重視していただきたい。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。</p>		
33	<p>Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	<p>a・<b>②</b>・c</p>
<p>&lt;コメント&gt;保護者アンケートから保育所全体で子どもを見てもらい温かい雰囲気満足しているという好意的な意見が多くみられる。また、行事ごとにアンケートをとり、保護者にも集計や意見を公開し、今後の保育に生かす姿勢が見受けられる。さらに、行事だけでなく日頃の保育における質問も取り入れることで、保護者の意見を把握・活用し、更なる満足度の向上に期待したい。</p>		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・㊀・c
<p>&lt;コメント&gt;苦情解決による仕組みが確立しており、保護者にも説明している。また、体制などは、玄関に掲示してある。苦情内容は、保護者にフィードバックし了解を得たものは、対応、改善等を掲示し知らせている。直接的な苦情は少なく、保護者との会話や連絡帳などから要望・意見を聞き取ることが多いため職員間で話し合い対応している。苦情や要望は、保育の質の向上の一貫として積極的に取り組んでいただきたい。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・㊀・c
<p>&lt;コメント&gt;保護者が相談や意見を述べやすいように、意見箱の設置やアンケートの実施、懇談会や連絡帳の利用など多方面から環境を整えている。今後も保護者等に十分に周知されるように日常的に言葉がけを行い環境を整えていただきたい。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・㊀・c
<p>&lt;コメント&gt;保護者との会話や連絡帳からの相談・意見は、リーダーから所長、副所長に迅速に報告され、対応し、解決に向け努めている。</p> <p>このように保護者の立場に立った対応や体制は、信頼を高め保育の質の向上に欠かせないことであるため、原点に立ちマニュアルの適宜見直しに取り組んでいただきたい。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・㊀・c
<p>&lt;コメント&gt;ヒヤリハット、事故報告が収集され、職員会議やケース会議等で再発防止策を検討し、職員間で情報共有・周知を図っている。また、安全対策のチェックリストをもとに保育環境の改善を図り、子どもの安心・安全を前提に月2回の安全点検、年4回の自主点検を行っている。所長・副所長が責任者となり、リスクマネジメント体制の整備・充実がより図られていくことに期待したい。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・㊀・c
<p>&lt;コメント&gt;「保健のしおり」、「保育所における感染症対応ガイドライン」等で予防、発生時の対応を参考にしている。</p> <p>また、サーベイランスを活用し地域内、校区内の感染症情報を保護者にいち早く提供している。中学校で手足口病が流行した際には、情報提供をし予防対策に配慮している。</p> <p>富山市の感染症対策の指導や研修は充実しているが、今後も保育所環境を把握し、充実した対策を講じていただきたい。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・㊀・c
<p>&lt;コメント&gt;各災害に対するマニュアルを作成し、避難訓練を実施しており、特に水害による訓練は近隣の病院、小学校の協力を求め、保護者と引渡しカードを使った訓練を実施してい</p>		

る。0. 1歳児もいるため、近隣の手助けなしでは避難に不安があり、また、災害時は病院の職員は患者対応で手が回らないと考えられるため、見守り隊の方たちの協力を得た訓練の実施も期待したい。

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;標準的な実施方法では、子どものプライバシーの保護や権利擁護を考慮し保護者から「承諾書」をもらっている。</p> <p>また、保育所には各種のマニュアルや手順書があり、職員で共有しながら活用している。保育所として当然に捉えがちな保育の手立てや方法は、基本的にしなくてはならない部分を共通化したものである。保育所の地域性や子どもたちの個性に対応した一定の水準、内容を保った保育を実施しているが、標準的な実施がされているか確認する体制の工夫に期待したい。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;各種マニュアルや手順書の見直しは、職員会での話し合いや保護者からの意見等を参考に実施している。</p> <p>標準的な実施方法の見直しは、定期的に現状を検証し必要に応じて行い、保育の質の向上と職員の共通意識を育てるためにも継続的に実施されることを望む。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;保育所では入所時に児童票を作成し1人ひとりの子どもを総合的に捉え、保護者の意向も取り入れながら指導計画を立てている。</p> <p>支援困難ケースへの対応は、専門機関、担当課の職員や看護師に相談し、話し合い、個別指導計画を立てている。アセスメント結果が、指導計画に適切に反映されているかを関係職員で協議し保育の質の向上につなげていっていただきたい。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの様子や保護者の意向を確かめ評価・見直しを定期的実施している。</p> <p>策定した指導計画について、1人ひとりの子どもに対する保育の質の向上のため、PDCAサイクルを用い、継続した見直しを実施することが望ましい。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;個別の指導計画は、ファイリングし、統一した様式で記録され、職員に周知されている。記録された書類は、副所長が確認し、内容・記載の仕方を指導している。</p>		

保護者からは、保育所全体で子どもを見てくださるという声もあり、子どもに関する情報共有もされている。家庭的な保育所の特性を生かし、これからも子どもに関する情報を組織的に管理、共有していただきたい。		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;富山市からの指導で管理体制が確立している。個人記録は鍵のかかる棚に保管し、事務室外へ持ち出さないように配慮しており、電子データの管理や個人情報においても外部に漏れないように職員間で話し合い周知している。今後も細心な管理体制で記録の取り扱いに注意していただきたい。</p>		

## A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・ <b>①</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;・保育課程は『全体的な計画』と名称を変え、富山市全体で各保育所から委員を選出して作成された。委員として参加した職員を中心に、今年度初め職員全体で見直しをし家庭や地域の実態に合わせて編成されている。今後は保護者や地域に広く発信し計画の充実を図ることが望ましい。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・ <b>②</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;・保育室、廊下、遊戯室等子どもが活動する場は、動線を考えて机や棚などの配置に配慮がなされていた。また、施設内外ともに危険箇所などの点検が適宜なされており、不備があった個所は行政に連絡するなどの手立てが講じられている。</p> <p>・空き保育室を効率的に利用し、子どもたちが自由に遊べる場として提供され、食事や午睡の場として工夫して保育にあたっている。今後はより安全面に配慮し、保育室を解放するなどの工夫も考えておられるため、その取り組みに期待したい。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・ <b>③</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;・少人数で建物が平屋作りであり、子どもにとっても職員にとっても他の様子が感じられる雰囲気である。また全職員が人権擁護のセルフチェックシートに取り組んでおり、結果は数値化され改善点について話し合いが持たれている。</p> <p>・子どもの発達や家庭環境などに対する職員同士の共通理解が図られており、声掛けや誘い掛けなど、温かく一人ひとりに応じた関わりがなされている。今後は職員間での自己評価が低かった項目について、対策と改善を期待する。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・ <b>④</b> ・c

<p>&lt;コメント&gt;・保育室において、子どもの生活に必要な手順(持ち物の整理・食事の準備・水遊びの手順等)について写真や絵・文字などで理解しやすいよう、子どもの目の高さに掲示する工夫がしてある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレでは子どもの動線に合わせ衛生的に使用できるよう、スリッパや手洗い場所、内履きを並べる場所に工夫がしてある。</li> <li>・夏場でもあり、自由にお茶が飲めるよう清潔な場所に給水コーナーが設置してあり、健康に対する配慮がなされている。</li> </ul>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;・園内研修のテーマを一つに絞るのではなく各職員がそれぞれに、今年度「どんな子に育てほしいか」「そのためになにをするか」を課題として挙げ、全職員で実践・話し合い・検証している。まずは主体的に活動できる職員作りから入り、保育へ実践として降ろしていく取り組みがなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画は作成されていたが、成果がどのように表れたか、検証し深められることを期待する。</li> </ul>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;・0・1歳児の保育室では、明るく清潔な環境の中、途中入所や病後の子に対しそれぞれの状態を把握しながら保育士がゆったりと関わっている。職員の関わり方がとても穏やかで、子どもの興味に合った遊具や遊びに誘い掛け、一人遊びの姿を大切にしながら見守っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディリープログラムに合わせ、各保育士が行うべき支援・配慮について明文化され、途中入所などでクラスの人数構成が変わるたびに見直し、子どもが安心して過ごせるような細かい配慮がなされている。食事担当、排泄担当の保育士は週単位で担当が変わり、おむつ交換場所は衛生面に配慮されている。おむつマットについては感染症予防の見地からも枚数を増やすなどの改良が望ましい。</li> <li>・感染症が0・1歳児クラスで出たが、全職員が症状や病後の注意事項について情報を収集し、保護者にも知らせ、共通理解のもと感染の広がりを最小にしようとする努力がうかがえる。</li> </ul>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;・2歳児の保育室は3歳以上児の保育室と隣接しており、交流が多く持たれている。個別配慮児がいるが、どの子に対しても保育士の穏やかな関わりが見られた。2歳児は、3歳以上児が保育室に入り遊ぶ姿を見ることで、学びの機会となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室内は危険のないように整理されており、手作り遊具などが準備され温かい雰囲気である。</li> <li>・今後、途中入所児が増えるに伴い、1歳児から2歳児クラスへの移行も考えているため、0・1・2歳児の担当職員でミーティングの場を持つことを期待する。</li> </ul>		

A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;・5歳児が中心となり、当番活動を行っているが、4歳児も一緒に活動する様子が見られた。子どもが主体となって活動できるよう、時計に分かりやすく「分」が書いてあるなど、生活の手順が絵と文字を用いて示してある。</p> <p>・年齢別での活動の様子や子どもの成長の様子については、玄関の写真、クラス便り、地域との連絡会などで発信する努力がなされている。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;・個別配慮児については、専門機関や保護者と連携を取り、保育にあたっている。</p> <p>・訪問指導の記録は所長の責任のもと管理されており、また指導事項が個別計画に反映され、職員が共通理解を持ちながら保育をされている。今後は、近隣の小学校ではない学校への就学に対して、専門機関・保護者との連携が大切となってくる。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;・長時間保育は、玄関や事務室に近い未満児保育室を利用している。連絡ノートを用いて、担任から保護者への連絡は漏れの無いよう配慮されている。</p> <p>・保育所近くに保護者送迎用の駐車場が確保されており、あわてることなく子どもも保護者もゆったりした気持ちで帰宅できる。</p> <p>・今年度に入り、長時間保育利用児が増えたことに伴い、人数によって過ごす場所や活動内容を再確認し、子どもがゆったりと過ごせる工夫がなされている。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;・小学校の見学会、連絡会の機会に積極的に子どもの様子を伝えたり情報交換をしたりしている。年長児が複数の校下に就学するというので、今後は隣接する小学校だけでなく、他の小学校とも連携することが必要となってくる。</p> <p>・就学児の保護者に対しての情報交換の場を持っていただくよう期待する。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;・子ども一人ひとりの健康管理に関する記録は適切に行われ、健康の保持に努めている。また、日々の健康状態については朝のミーティングで職員全体に周知するとともに、翌日の子どもを受け入れる際にも、保護者と共に健康状態について確認を行っている。</p> <p>・玄関の保健コーナーには、子どもの健康に関すること、感染症についての情報などが保護者に分かりやすいように掲示してある。また、感染症についてのリーフレットに記載していない情報については職員が情報収集をし、保護者に伝えている。</p>		

A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・ <b>⑬</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;・健康診断の結果については、お知らせを保護者に配布し伝えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断の機会に、子ども達に感染症予防や虫歯予防などについて、視聴覚教材を用いて意識づける工夫がなされている。</li> </ul>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・ <b>⑭</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;・アレルギー除去食が必要な子については医師からの指示を受け、入所する場合は、担任、調理員同席のもと保護者との面談を行っている。毎週、除去食の献立を保護者に配布し、確認しており、調理の順番、担当者、調理器具は適切に管理されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除去食はわかりやすいようにトレイ、食器の色が区別され、プレートで名前と内容が示され、調理員、所長、引き渡し職員、食事補助職員の4段階でのチェックが行われ、記録として保管されている。また、食事の配膳場所、食事場所を誤食の無いように区分するなど工夫がなされている。</li> </ul>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・ <b>⑮</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;・セルフサービス形式での配膳を行い、子ども達は見本を見ながらも自分の適量を知り盛り付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き保育室をランチルームとして利用し、ゆったりとした雰囲気の中で食事を楽しむ工夫がされている。食事をする席は自由に自分で選び、気の合う仲間との食事が楽しめるようにしている。</li> <li>・三大栄養素の図が玄関に掲示してあり、子ども達が食と健康について意識を持つような工夫がされている。</li> </ul>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・ <b>⑯</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;・富山市の調理衛生マニュアルを遵守し、外部委託で給食が提供されている。委託業者の職員は、保育所給食の経験が少ないということだったが、保育所職員との連携は取れている。また、保育室で子どもと一緒に食事をし、味付けや食材の大きさなどについて担任とも連携を取っている。毎月富山市の栄養士の指導を受け、子ども達に食育活動を行なうなどの努力が見られ、アレルギーについての研修にも積極的に参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対しては、食育の日に合わせ給食参加を行い、子どもたちの食に対する取り組みを見てもらったり、一緒に味わったりするなど工夫している。その後、座談会を行い、意見交換をしている。</li> <li>・給食見本は、玄関ホールに展示されているが、夏季の間は衛生面を考慮し、写真での掲示となっている。</li> </ul>		

## A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;・どの年齢においても、連絡帳が家庭との連携を大切にするために活用されている。特に低年齢児や途中入所児については、保護者が子供の様子について知り、安心して預けられるよう具体的な記載を配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お迎えは各保育室前でわれ、保護者と直接子どもの様子について話ができる機会がある。このことは、利用者アンケートからも話しやすい雰囲気、ゆっくりと時間を取って聞いてくれるなど、安心事項として挙げられている。</li> <li>・写真やコメント付きで日々の様子を保護者に知らせるよう玄関に掲示してあるが、利用者アンケートからも、気づきにくさや、イベントがあった時ばかりではなく、日常の様子についても知りたいという意見が見受けられるため、掲示の場所や方法について検討されることを期待する。</li> </ul>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;・連絡帳、送迎時の声掛けなどで話しやすい雰囲気作りを心がけ、信頼関係を築く努力をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が相談したい時は、所長・副所長・担任らが個人情報に配慮しながら話し合いを持っている。相談内容については記録に残し、個人ファイルに綴じて管理するとともに、内容によっては、事務室で全職員が回覧し、周知することで、継続した支援体制を構築している。保護者面談については、空き部屋を使用し、プライバシーに配慮した相談業務を行っている。</li> <li>・保護者からの意見は内容によっては全保護者に知らせるなどの配慮が期待される。</li> </ul>		
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	A・b・c
<p>&lt;コメント&gt;・現在、専門機関との連携を必要とする子どもは在籍していないが、マニュアルは整備されており、職員間で周知されている。また気になる子・家庭については職員間で情報が共有され、対応できるような体制を整えている。</p>		

## A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;・毎月、年齢別・異年齢保育の指導計画を週ごとに評価・反省し、次月の保育へ</p>		

反映している。また、指導計画は、年齢別などのミーティングで話し合われていたが、記録に参加者や時間帯などを明記し、より職員間での周知が図られることに期待する。

・ 正規・定数外職員共に第三者評価の自己評価と、人権擁護のセルフチェックシートで自己評価を行っている。今年度は再度チェックを行う予定であるため、気になる項目や評価が低かった項目について重点的にセルフチェックを行い、それについての検証をし、専門性の向上に努められることを期待する。